

日向地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本地域は1市2町2村からなる広域で、海拔0m～1,000mと標高差もある。農用地面積は3,714haの内水田面積は2,361haである。作物別は主食用米が全体の1,356.5ha(57.4%)を占めておりついで飼料作物等(WCS用稲含む)が206.2ha(8.7%)、野菜等の園芸作物が171.6ha(7.3%)となっている。

本地域の作物作付状況は米については、沿海部は早期水稻、中山間部は普通期水稻が主体であり全体で57.4%を占めている。米以外の作物として、飼料作物を中心に野菜、花卉、大豆、果樹等が作付されている。特に野菜は温暖な気候を利用して施設・露地栽培や地理的要件を利用した高冷地野菜が栽培されている。しかし、近年では資材高騰や燃油高騰で生産費が増大する一方生産物の販売価格は下がっており、今後は、品質向上及び低コスト栽培等の指導・推進を図ることが必要となっている。

2 作物ごとの取組方針

(1) 主食用米

需要に応じた売れる米づくりについて、良質、良食味で安全・安心な米づくりを実施し、消費者の安全性志向が強まる中、量から質への転換を推進している。また、食の安全性や表示等への関心が高まる中、生産履歴記帳による信頼できる米づくりに向けて取組を行う。

(2) 非主食用米

ア 加工用米

主食用米の需要減が見込まれる中、加工用米を転作作物の中心作物に位置付ける。当該地域の加工用米は、県内の酒造メーカーへの販売を中心に生産を行っており、近年、加工用米の需要が高まっているところである。

産地交付金を活用して、生産性向上の支援や、県内の実需者との結びつきを強化して、生産の拡大を図る。(H25 現行の0.8haを28年度までに23haを目指す)

イ 飼料用米

当該地域の飼料用米は、経済連等と販売契約を締結し県内の養鶏、養豚業等との連携を進め取組を図る。

H26年度は、多収実証展示圃を設置し、地域に合った多収性専用品種の選定や収量状況等の検討を行いながら、産地交付金を活用し、生産性向上の取組を推進する。また、主食用米とのコンタミ防止の観点から、収穫時期が重ならないよう品種毎の団地化を図るなど、作付計画等について協議する。(H25 現行の2.8haを28年度までに3.0haを目指す)

ウ WCS用稲

水田機能の維持、農作業機械の有効活用による低コスト・省力化が図られることから一層推進する。また、肉用牛の生産基盤確立のため、経営面積の維持及び生産性の向上を図ると共に安心・安全で高品質な畜産物の生産を図る。(H25 現行の122.5haを28年度までに125.0haを目指す)

(3) 大豆

作業受委託による低コスト化を推進し、適正管理の徹底や共同調整により品質の向上を図る。販売については、地域の直売所、女性部、加工業者を中心に付加価値を付けて販売を行って行く。(現行の6.7haを28年度までに7.0haを目指す)

(4) そば、なたね

地域の特性を生かし実需者との契約に基づき、産地交付金を活用して現行の栽培面積11.5haを維持する。また、地域の直売所等で販売することにより村興しや集落の活性化につなげる。

(5) 野菜・花卉・きのこ類

本地域は温暖な気候や地理的条件を利用して施設・露地で栽培されており、市場での高い評価を得ている。

地域振興のためには、後継者の就農はもとより、新規就農者等により作付面積の拡大もあり経営の支援及び事業活用の確立を図る必要がある。

そこで、さらなる品質向上や収量アップに応じた栽培方法等を産地交付金を活用しながら推進を図っていく。また、地産地消の観点から直売所等の有効活用を促す。

管内の地域振興作物として、トマト類、きゅうり、にがうり、なす、スナップエンドウ、しょうが、ほおずき、スイートピー、きのこ類を位置付け安心・安全の産地化を図る。

(28年度までに、トマト類：H25 現行17.8ha→H28 目標：18.0ha、きゅうり：H25 現行6.1ha→H28 目標：6.3ha、にがうり：H25 現行2.0ha→H28 目標：2.3ha、なす：H25 現行1.4ha→H28 目標：1.5ha、スナップエンドウ：H25 現行1.3ha→H28 目標：2.0ha、しょうが：H25 現行1.5ha→H28 目標：1.7ha、ほおずき：H25 現行1.3ha→H28 目標：1.4ha、スイートピー：H25 現行0.9ha→H28 目標：1.0ha、きのこ類：H25 現行3.7ha→H28 目標：4.0haの作付拡大を目指す)

(6) 施設園芸及び露地大根

産地交付金を活用し、生産性向上や低コスト栽培・品質向上対策等に取り組み、地域の特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を推進する。(28年度までに、施設トマト類：H25 現行10.3ha→H28 目標：11.6ha、施設きゅうり：H25 現行4.1ha→H28 目標：4.8ha、にがうり：H25 現行0.2ha→H28 目標：0.3ha、スナップエンドウ：H25 現行1.3ha→H28 目標：2.0ha、ほおずき：H25 現行1.3ha→H28 目標：1.4ha、スイートピー：H25 現行0.9ha→H28 目標：1.0ha、露地大根(千切り用)：H25 現行：32.6ha→H28 目標：35.0haを目指す)

(7) 景観形成作物・地力増進作物

産地交付金を活用し、水田の有効活用及び遊休農地の解消に取り組み水田としての維持を図る目的として作付の支援を行う。

なお、地力増進作物については、同一圃場での取組を最長3年間として助成を行い、その後は作物作付の誘導を促す。

(8) 不作付地の解消

調整水田等の不作付地の改善計画では、12.2haが計上されており、このうち約6割が「自ら作物生産する」となっている。一方「他人に委託する」となっているものも約0.7haある。

今後は、中間管理機構等において、機構集積協力金、経営転換協力金等の助成を最大限に活用出来るよう生産者への周知を図りながら、人・農地プランに位置付けられた地域の担い手・

認定農業者等を中心に農地集積を図り不作付地の解消を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 26 年度の作付予定面積 (ha)	平成 28 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	1 3 5 6 . 5	1 3 4 7 . 0	1 3 1 5 . 0
加工用米（基幹）	0 . 8	2 2 . 9	2 3 . 0
備蓄米	0 . 0	0 . 0	0 . 0
米粉用米	0 . 0	0 . 0	0 . 0
飼料用米（基幹）	2 . 8	1 . 0	3 . 0
WCS用稲（基幹）	1 2 2 . 5	1 2 2 . 5	1 2 5 . 0
麦（基幹）	0 . 1	0 . 1	0 . 6
（二毛作）	0 . 1	0 . 1	0 . 1
大豆（基幹）	6 . 7	6 . 0	7 . 0
飼料作物（基幹）	8 3 . 7	8 7 . 0	8 7 . 0
（二毛作）	2 3 6 . 3	2 5 5 . 1	2 5 5 . 5
そば（基幹）	1 . 0	1 . 0	1 . 0
（二毛作）	7 . 6	7 . 6	7 . 6
なたね（基幹）	0 . 1	0 . 2	0 . 2
（二毛作）	2 . 7	2 . 7	2 . 7
その他地域振興作物	1 7 1 . 6	1 7 5 . 1	1 8 2 . 3
野菜	9 6 . 7	1 0 0 . 0	1 0 5 . 0
うち			
トマト類	1 7 . 8	1 7 . 8	1 8 . 0
（うち施設栽培）	(1 0 . 3)	(1 0 . 8)	(1 1 . 6)
きゅうり	6 . 1	6 . 1	6 . 3
（うち施設栽培）	(4 . 1)	(4 . 2)	(4 . 8)
にがうり	2 . 0	2 . 0	2 . 3
（うち施設栽培）	(0 . 2)	(0 . 2)	(0 . 3)
なす	1 . 4	1 . 4	1 . 5
スナップエンドウ	1 . 3	1 . 4	2 . 0
（うち施設栽培）	(1 . 3)	(1 . 4)	(2 . 0)
しょうが	1 . 5	1 . 5	1 . 7
大根（基幹）	0 . 6	0 . 6	0 . 7
（二毛作）	3 2 . 6	3 4 . 0	3 5 . 0
花き・花木	1 6 . 8	1 7 . 0	1 8 . 0
うち			
ほおずき	1 . 3	1 . 3	1 . 4
（うち施設栽培）	(1 . 3)	(1 . 3)	(1 . 4)
スイートピー	0 . 9	0 . 9	1 . 0
（うち施設栽培）	(0 . 9)	(0 . 9)	(1 . 0)
果樹	4 8 . 8	4 8 . 8	4 8 . 8
雑穀	0 . 1	0 . 1	0 . 1
地力増進	0 . 2	0 . 2	0 . 2
景観作物	0 . 2	0 . 2	0 . 2

その他	8. 8	8. 8	10. 0
うち			
きのこ類	3. 7	3. 7	4. 0

4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取 組	分類 ※	指標	平成 25 年度 (現状値)	平成 26 年度 (予定)	平成 28 年度 (目標値)
1	トマト類 きゅうり にがうり な す スナップエンドウ しょうが ほおずき スイートピー きのこ類	地域振興作物の 作付拡大	イ	実施面積	17. 8ha 6. 1ha 2. 0ha 1. 4ha 1. 3ha 1. 5ha 1. 3ha 0. 9ha 3. 7ha	17. 8ha 6. 1ha 2. 0ha 1. 4ha 1. 4ha 1. 5ha 1. 3ha 0. 9ha 3. 7ha	18. 0ha 6. 3ha 2. 3ha 1. 5ha 2. 0ha 1. 7ha 1. 4ha 1. 0ha 4. 0ha
2	施設トマト類 施設きゅうり 施設にがうり スナップエンドウ ほおずき スイートピー 千切り用大根	施設園芸作物の 作付拡大 露地大根の作付 拡大	ウ	実施面積	10. 3ha 4. 1ha 0. 2ha 1. 3ha 1. 3ha 0. 9ha 32. 6ha	10. 8ha 4. 2ha 0. 2ha 1. 4ha 1. 3ha 0. 9ha 34. 0ha	11. 6ha 4. 8ha 0. 3ha 2. 0ha 1. 4ha 1. 0ha 35. 0ha

※「分類」欄については、要綱（別紙 10）の 2（5）のア、イ、ウのいずれに該当するか記入して下さい。
（複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組の記号をいずれか 1 つ記入して下さい。）

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組

イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組

ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組